

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)エンクレスト住吉2丁目	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市博多区住吉2丁目15番1外10筆	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	7地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年7月 予定	評価の実施日	2023年10月5日
敷地面積	1,641 m ²	作成者	大川 忠臣
建築面積	802 m ²	確認日	
延床面積	8,592 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	0	100%
②建築物の取組み	46	125%
③上記+②以外の	92	125%
④上記+	138	125%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.1

3 設計上の配慮事項		
総合 共同住宅は良好な住環境を形成できるよう計画し、利用者が利用しやすいようなアプローチ計画とした。		その他
Q1 室内環境 共同住宅の配置を片廊下型とし、開放性の高い計画とした。	Q2 サービス性能 共用部にラウンジを設けるなどで全体にゆとりある住空間を確保した。	Q3 室外環境(敷地内) 建物正面と角地部分に植栽を配置した
LR1 エネルギー 外壁、屋根、床等に断熱処理を行い、建築物の断熱性、気密性を向上させる計画とした。	LR2 資源・マテリアル シックハウス法に基づき、建材等には有害な化学物質を含まないものを使用した。	LR3 敷地外環境 建物利用者のために適切な駐車台数、駐輪台数を確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される